

企画名	よい研究論文の書き方：英文誌 Case Report の書き方 WS
企画 責任者	山本 和利 （札幌医科大学地域医療総合医学講座）
目的 概要	<p>良質なプライマリ・ケアを提供するためには、診療の質の評価や教育の改善・開発が欠かせない。ある施設での検討や試みが妥当なのか、他施設でも適用可能なのか、などを検証するためには、学术论文を通じたピアレビューが必須である。本ワークショップでは、査読者の視点で学术论文の書き方を捉え直すことにより、参加者の論文執筆技能が向上し、プライマリ・ケア研究や論文投稿への障壁を下げ、学会の学術活動が活性化することを目指す。</p> <p>今回は、英文誌の Case Report の書き方について WS をおこなう。</p>